

資料5

十勝川水系自然再生 地域連携委員会 提言(案) 説明資料

十勝川水系自然再生検討会 (第6回) 令和8年3月10日

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.1.1 背景

2.1.2 これまでの取組

2.1.3 課題

2.2 「地域づくり」について

2.2.1 背景

2.2.2 これまでの取組

2.2.3 課題

2.3 「社会づくり」について

2.3.1 背景

2.3.2 これまでの取組

2.3.3 課題

第3章 今後の取組

本文目次

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.2 「地域づくり」について

2.3 「社会づくり」について

第3章 今後の取組

はじめに

■ 記載内容の説明（本文P1）

- 十勝川水系自然再生地域連携委員会及び「十勝川水系自然再生地域連携委員会 提言（案）」の位置付けを記載している。本提言（案）は、十勝川水系の価値を活かした地域活性化に向けた意見を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 「十勝川水系自然再生地域連携委員会」は、十勝地域に根差し、様々な分野で活動する委員の参加により、**十勝川流域の自然環境のほか十勝川水系自然再生事業等による整備と関連して河川環境を活用した地域活性化に関する取組の検討・助言を行う**ことを目的として、令和6年8月より議論を重ねてきた。
- 本「提言」は、5回にわたり開催した委員会（R6.8.28、R7.1.10、R7.2.6、R7.2.21、R7.10.28）の討議において、今後、自然再生事業により一層の価値の向上が期待される十勝川流域を地域の財産と位置づけ、十勝川の恵まれた自然環境に関わる「人づくり」、「地域づくり」、「社会づくり」をテーマに**「十勝川水系」の価値を活かした地域の活性化に向けた意見を取りまとめたもの**である。
- この「提言」が、十勝川流域で生活する人たちはもとより、十勝川水系の自然を愛して活動する人たち、十勝川水系の魅力を求めて訪れる人たちのために少しでも貢献できることを祈念する。

■ 十勝川水系自然再生地域連携委員会 委員一覧

| 氏名 | 所属 |
|--------|---------------------|
| 浅岡 寛文 | 十勝川インフォメーションセンター管理者 |
| 石原 由美子 | アトリエゆふ 代表 |
| 近江 正隆 | (一社)十勝うらほろ楽舎 |
| 小川 宣幸 | 十勝川コーディネーター |
| ◎柳川 久 | 帯広畜産大学 名誉教授 |
| 山岡 しのぶ | 十勝川温泉旅館協同組合 専務理事 |

本文目次

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.2 「地域づくり」について

2.3 「社会づくり」について

第3章 今後の取組

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

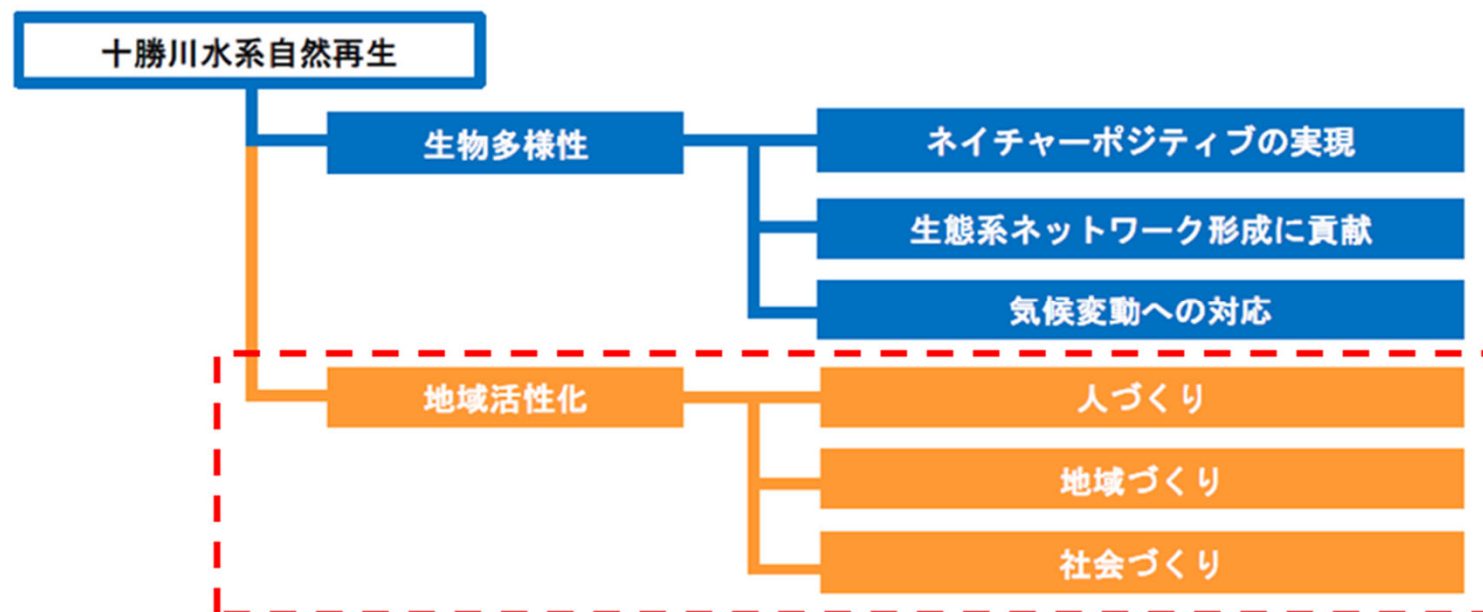
■ 記載内容の説明（本文P3）

- 基本計画で示した「十勝川水系自然再生の方針」（基本計画本文P31）を基に、生物多様性と地域活性化の繋がりを記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 十勝川水系自然再生基本計画においては、自然再生により得られる自然環境等を活用して地域活性化を目指すこととし、**「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」という3つの視点で地域活性化に取り組む**ことが示されている。

■ 十勝川水系自然再生の方針



生物多様性

地域の資源としての価値につながる
地域の持続可能な発展につながる

地域活性化

自然環境への関心や意識が高まり、
保全活動が推進

本文目次

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.2 「地域づくり」について

2.3 「社会づくり」について

第3章 今後の取組

第2章 地域連携の推進に向けた課題

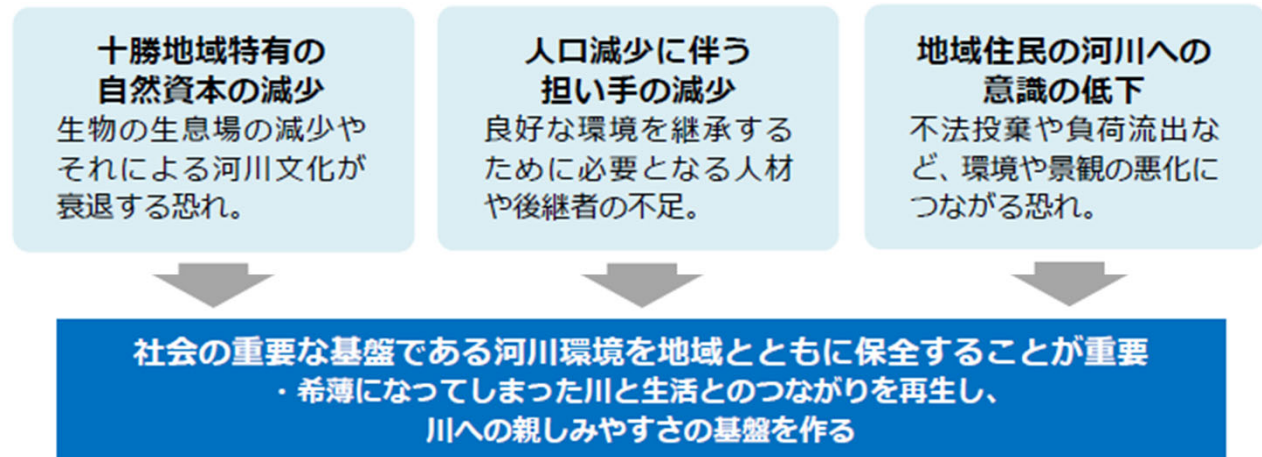
■ 記載内容の説明（本文P4）

- 十勝川水系の河川環境を取り巻く社会的な課題と、その対応方針を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 十勝川水系の河川環境は地域を構成する重要な社会基盤の一つである。この基盤が劣化することは社会の自然資本の減少につながるとともに、十勝川水系と歩んできた十勝特有の河川文化の衰退にもつながる恐れがある。こうした河川環境を向上し、それを維持・保全していくことは社会的な課題であると考えられる。
- 十勝川水系においては、川と歴史、川と農業、川と食産業といった形で様々なテーマに結び付けることも重要な視点と考えられる。
- その実現には様々な関係機関・関係者が連携し、十勝地域における社会的な時代の潮流も含めて、新たな取組に発展させていくことが必要と考えられる。

■ 河川環境を取り巻く社会的な課題



社会的な時代の潮流を踏まえた取組を実施する必要がある

- 「自然と共生する社会」など持続可能な地域づくりへの期待（国立公園化を含む自然保護と利活用）
- 観光産業の需要の高まりへの対応（地方創生を目的にアドベンチャートラベルが注目）
- 災害の激甚化への対応（地域住民が流域治水に関心を持つ契機）
- 社会課題への対応（河川環境の観点で言えば、深刻な人手不足への対応が必要） など

本文目次

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.2 「地域づくり」について

2.3 「社会づくり」について

第3章 今後の取組

第2章 地域連携の推進に向けた課題

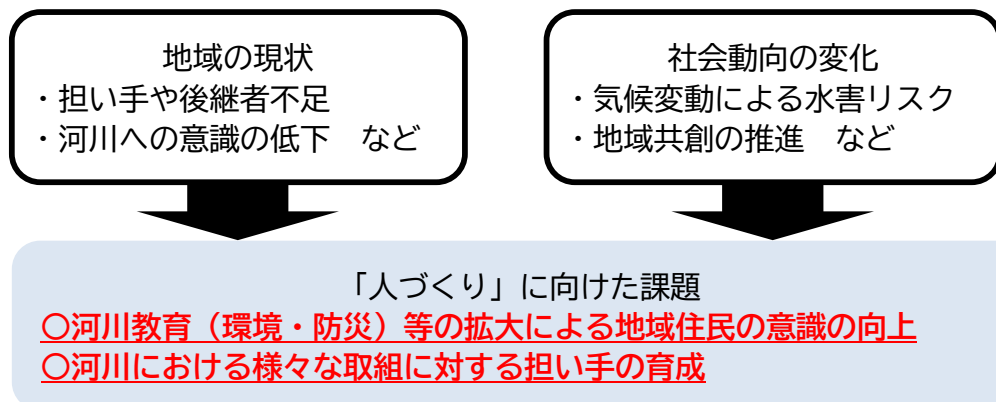
2.1 「人づくり」について

■ 記載内容の説明（本文P5）

- 「人づくり」について、背景となる地域文化と社会の動向及び関連する地域の取組を整理したうえで、「人づくり」における課題を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 十勝川水系の河川は、「川狩り」と称して河原で炊事や釣り等が行われる文化が生まれるなど、**地域にとってかけがえのない豊かな空間**として親しまれてきた。
- 一方で、今後の気候変動に伴う水害リスクの上昇への対応や地域共創に対する取組が社会的に求められている。
- 現在では、小・中学生を対象とした川の自然環境調査、修学旅行生等を対象とした川下り体験、川の安全管理講習会、かわたび交流会等を通じた人材のネットワーク形成支援などが行われている。
- これまでも様々な取組が行われているものの、**人口減少や河川に対する意識の低下、地域団体の高齢化などに伴って、河川における取組を行う上で必要となる担い手の不足**を招いており、その解決に向けた取組を行うことが重要となる。



本文目次

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.2 「地域づくり」について

2.3 「社会づくり」について

第3章 今後の取組

第2章 地域連携の推進に向けた課題

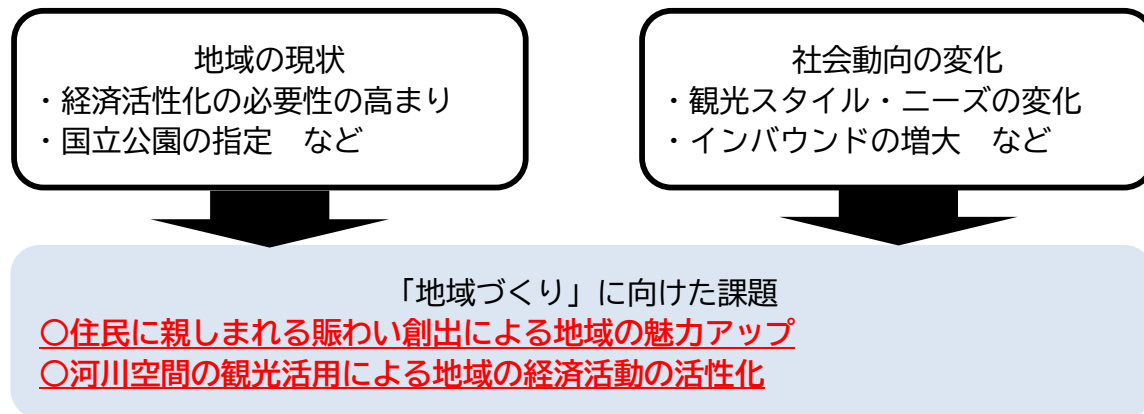
2.2 「地域づくり」について

■ 記載内容の説明（本文P6）

- 「地域づくり」について、背景となる地域の現状と社会的な動向及び関連する地域の取組を整理したうえで、「地域づくり」における課題を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 十勝地域においては、外国人観光客の増加や観光行動の個人化など観光スタイルや顧客層の変化を見据えた観光振興の取組が求められている。
- 現在では、十勝川イカダ下り・花火大会・アイヌ文化に関連したあきあじ祭りなど多彩なイベント、カヌー・散策・サイクリングなどの地域住民によるレクリエーション活動、河川空間を活用したアドベンチャートラベルなど、**地域の自然資源を活用した観光振興に向けた機運**も高まりつつある。
- 今後においては、**現在の利活用を継承しながら、更に充実し、地域の魅力を向上させることが重要となるほか、地域が進める観光振興に対して河川空間の活用を進め、経済活動の活性化につなげる**ことが重要となる。



本文目次

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.2 「地域づくり」について

2.3 「社会づくり」について

第3章 今後の取組

第2章 地域連携の推進に向けた課題

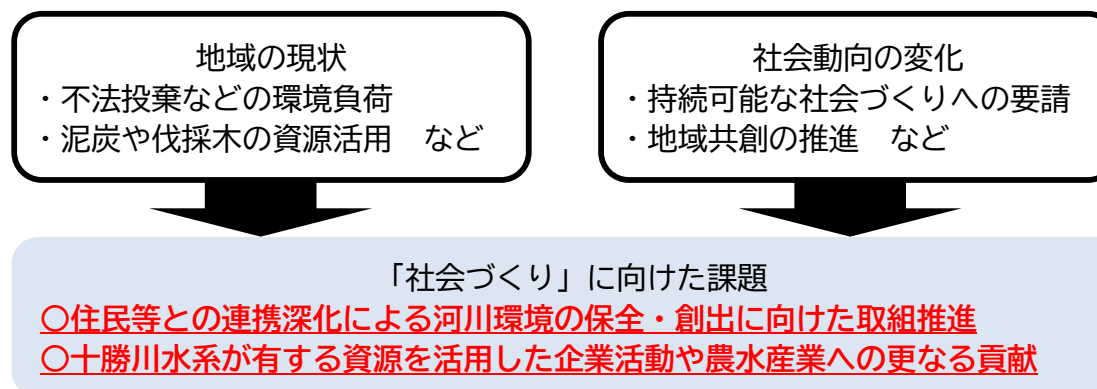
2.3 「社会づくり」について

■ 記載内容の説明（本文P7）

- 「社会づくり」について、背景となる社会の動向及び関連する地域の取組を整理したうえで、「社会づくり」における課題を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 低炭素社会・循環型社会・自然共生社会といった**持続可能な社会の形成は国内における重要な課題**となっている。
- 現在では、クリーンウォークとかちなどの河川環境の継続的な保全活動、地域の杜づくりなどの植樹活動、河川の掘削土を利用した農地の嵩上げ、伐採木等の企業への無償提供などが行われている。
- 流域内に立地する**企業や住民等と連携を深め**、河川環境の保全・創出を推進する他、**十勝川水系が有する資源を活用した地域の企業活動や農水産業との連携**を一層推進することが課題と考えられる。
- また、既に行われている取組については、**地域住民にも適切に情報が伝わるよう、周知の強化**が求められる。



本文目次

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.2 「地域づくり」について

2.3 「社会づくり」について

第3章 今後の取組

第3章 今後の取組

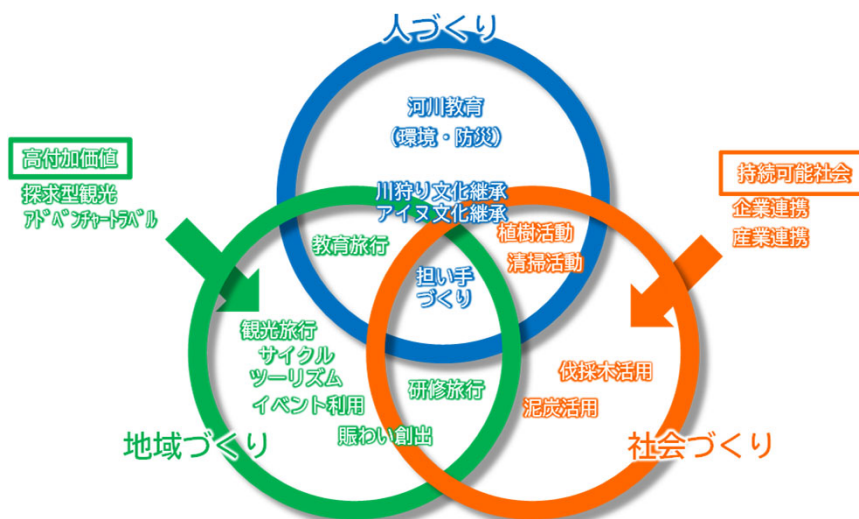
■ 記載内容の説明（本文P8）

- 「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」の定義と関係性を整理したうえで、地域連携におけるキーワードを提示している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 「人づくり」は、河川に関する社会的な啓発を促す取組であり、広く一般に河川の役割や魅力を伝え、様々な取組をけん引する人材を育成し、充実させていく取組である。
- 「地域づくり」は、そこに住まう人々の生活を豊かにする取組であるほか、来訪者に対しても魅力的な地域としていく取組である。
- 「社会づくり」は、地域づくりをさらに発展させ、地域社会の持続性や地球環境への貢献を見据えた取組である。
- これら **3つの取組は相互に密接に関係**しており、明確に区分されるものではない。**多様な主体がそれぞれの役割を担いながら連携・協働し、自然再生事業の成果が最終的に地域へ還元される**ことを意識して取り組むことが重要である。
- こうした考え方を共有し、主体的かつ継続的な取組を推進するためのキーワードとして、**「十勝川と共に創る人と地域」**を位置づける。

■ 地域連携の取組の概念



■ 十勝川地域連携のキーワード

「十勝川と共に創る人と地域」

<キーワードに込められた意味>

- 本キーワードは、十勝川の自然再生が、最終的には地域やそこで暮らす人々に確かな恩恵をもたらす取組であるとの認識を示したものである。自然再生事業の成果を地域へ還元することを念頭に置き、行政、地域住民、関係団体等の多様な主体が相互に連携しながら取組を進めていくことの重要性を表している。
- また、令和6年3月に閣議決定された「第9期北海道総合開発計画」が掲げる「共創（共に北海道の未来を創る）」という理念を反映している。

本文目次

はじめに

第1章 十勝川水系自然再生基本計画について

第2章 地域連携の推進に向けた課題

2.1 「人づくり」について

2.2 「地域づくり」について

2.3 「社会づくり」について

第3章 今後の取組

第3章 今後の取組

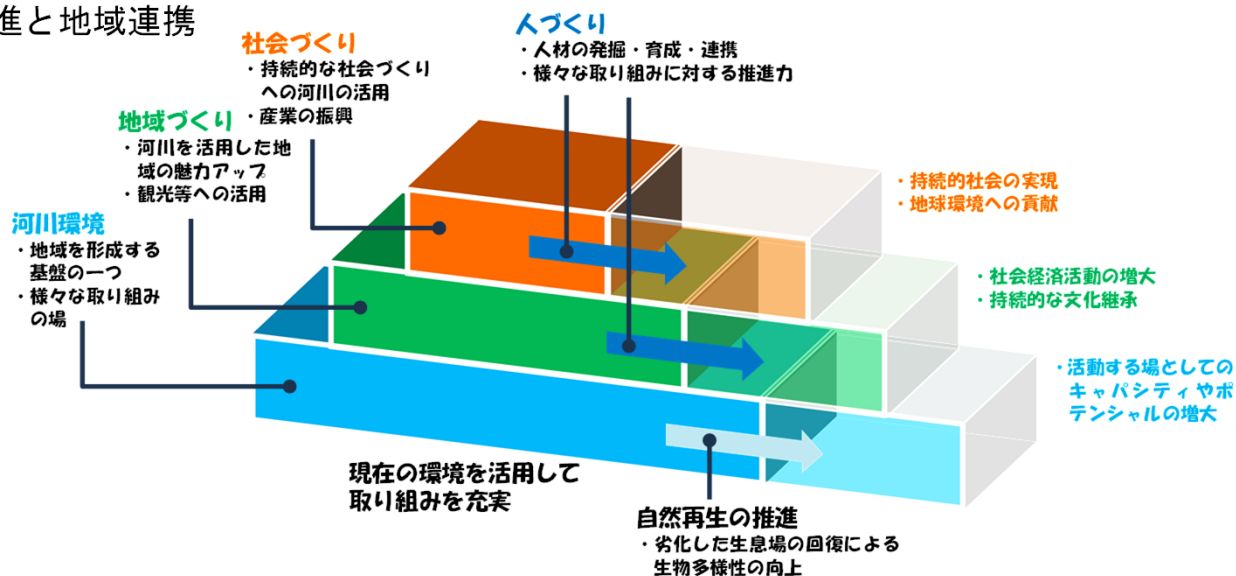
■ 記載内容の説明（本文P9）

- 地域連携の今後の取組方針について記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 十勝地域では、「雄大な自然」「豊かな食」、アイヌ文化などの「独自の文化」、サイクリングやカヌーといった「多様なアクティビティ」を楽しむ環境が整っていることに着目して、アドベンチャー・トラベルを推進し、地域活性化を促すことを目指している。
- 河川環境における自然再生の推進は、河川環境の利活用に対するポテンシャルをさらに高める**ものであり、自然再生の推進に伴って地域の社会・経済活動の拡充を図ることが可能になると考えられる。

■ 自然再生の推進と地域連携



生物種の減少傾向を増加傾向に
転ずる＝ネイチャーポジティブの実現

河道内に整備した湿地環境



良好な河川環境を活用した
地域の社会・経済活動の拡充

官民の様々な団体等と連携して
グリーンインフラ等の取組を推進

河川周辺の清掃活動



川下り